

咲き誇っていた桜も散り始め、春の日差しが心地よい季節となりました。

令和4年度の総上小学校は、125名の子どもたちと、24名の教職員でスタートしました。学年の一つ上がった子どもたちは、晴れやかな表情と、とても落ち着いた態度で始業式を迎えました。また、入学式では今年度の新入生14名を迎え、私たち教職員も気持ちを新たにいたしました。

昨年度までの2年間は、コロナ禍で生活が大きく変わりました。未だに先を見通せない、不安な状況が続いていますが、子どもたちが、それぞれの目標を達成できるよう、丁寧な関わりと個に応じた支援を心がけていきたいと思います。そして、学校では、子どもたちに、次の三つの心を育てたいと考えています。

○相手の立場になって考え、気持ちを推しはかることのできる 優しい心

○本気が、やりがいや満足感につながることに気づき、楽しみながら 学ぶ心

○苦しいときにも、解決の方法を見付けて、やり抜くことのできる 強い心

この三つがバランスよく育ってこそ、人生を力強く生き抜くことができるのではないのでしょうか。この人生を生き抜く力を育てるためには、本校の合言葉である

「ふれあい ささえあい かんしゃしあい」が必要です。「ふれあう」「ささえあう」「かんしゃしあう」は一人ではできません。125名全員が、力を合わせなければなりません。そして、それが、「みんなで伸びる総上っ子」の実現につながり、力強く生きる糧になるのだと思います。

総上小学校は、温かな地域の方々に見守られてきた伝統ある学校です。そのような地域で育ってきた、「宝物」の子どもたちが、キラキラに輝く元気な学校にしたいと考えています。キラキラ輝く自分のよさを自覚できれば、自分に自信がわき、自分と比べることなく、他者のキラキラも認めることができるようになります。誰もが、学校が元気になります。「みんなキラキラ 元気な学校」を目指し、教職員一同、思いを一つにして、心からの愛情を注ぎながら、全力で日々の教育活動に当たってまいります。

保護者や地域の皆様方には、地域の宝物である子どもたちの健やかで、たくましい成長を見守り、本校教育活動へのご理解とご支援をいただけますよう、心からお願い申し上げます。

令和4年4月

下妻市立総上小学校長 綱川 真理